

第2回調査・研究企画調整会議 議事概要

(注：本会議は個別具体の研究者や研究課題名に言及した議論が行われることから、非公開で行った。

本会議概要についても、それらが特定されない形での公表とする。)

1 日時：平成23年2月23日(水) 15:00～16:00

2 場所：食品安全委員会22階中会議室

3 出席者(7名) 五十音順

圓藤 陽子(独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長)

熊谷 進(食品安全委員会委員長代理)

小泉 直子(食品安全委員会委員長)

佐々木珠美(日本生活協同組合連合会食の安全担当テクニカルアドバイザー)

品川 邦汎(岩手大学特任教授)

長尾 拓(食品安全委員会委員)

◎廣瀬 雅雄(食品安全委員会委員)

(◎：座長)

4 欠席者(1名)

及川 眞一(日本医科大学内科学内分泌代謝部門教授)

5 議題

(1) 中間評価案及び研究費の配分案について

(2) その他

5 議事

(1) 中間評価案及び研究費の配分案について

○中間評価案について

研究運営部会からあった中間評価案に関する報告を踏まえ、中間評価対象課題(21年度採択5課題、22年度採択9課題の合計14課題)のうち、13課題を「継続」、「1004」を「完了」とする内容の「平成21年度及び平成22年度食品健康影響評価技術研究課題の中間評価(案)」を取りまとめ、3月3日(木)開催の第369回食品安全委員会へ報告することとなった。なお、「1004」の課題は、23年度に調査事業として実施することを検討することとなった。

○研究費の配分案について

- ・ 予算が減額したのはやむを得ない。評価の高い課題と低い課題の傾斜配分はこれまでもやってきていた。傾斜配分の考え方を守るべき。
- ・ 査定率にもっと差をつけるべきではないか。
- ・ 評価の低かった課題でも、あまり減額しすぎると研究に支障がある。

→23年度研究費については、新規8,000万円、継続16,000万円の配分案とすることを決定した。また、個別課題の配分については、査定率の考え方を決定した。

以上